
愛媛県愛南町（深浦漁港、船越漁港等） PR資料

（令和6年3月時点）

1. 地域の概要

愛南町の概要

愛南町は、南宇和郡の旧5町村（内海村、御荘町、城辺町、一本松町、西海町）が、平成16年10月1日に合併して誕生した町である。愛媛県最南端に位置し、太平洋や豊後水道に位置する「足摺宇和海国立公園」に面している自然豊かな地域である。南宇和郡の北部には、四国山脈から分岐した一本松地域の篠山支脈があり、ここから発する僧都川の流域に、平野部が開け、この平野部に御荘地域、城辺地域の市街地が形成されている。気候は四季を通じて温暖で、梅雨期には雨が多く、南海型気候の特色をもつ。

松山市から150kmと遠い立地にあるが、町の入口部まで延伸される高規格幹線道路の開通後を見据え、町の地域資源である海を活用した活性化を目指している。



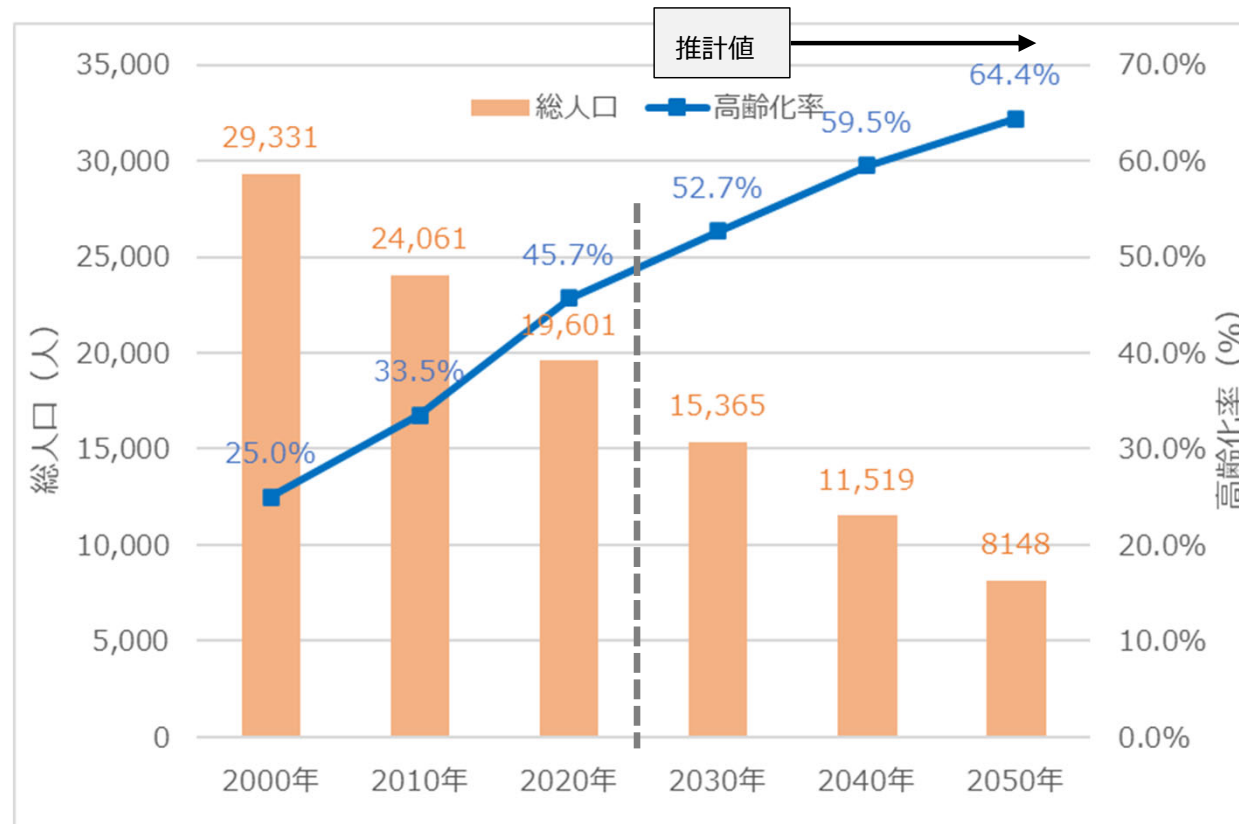
図表1 愛南町の位置



図表2 愛南町の位置

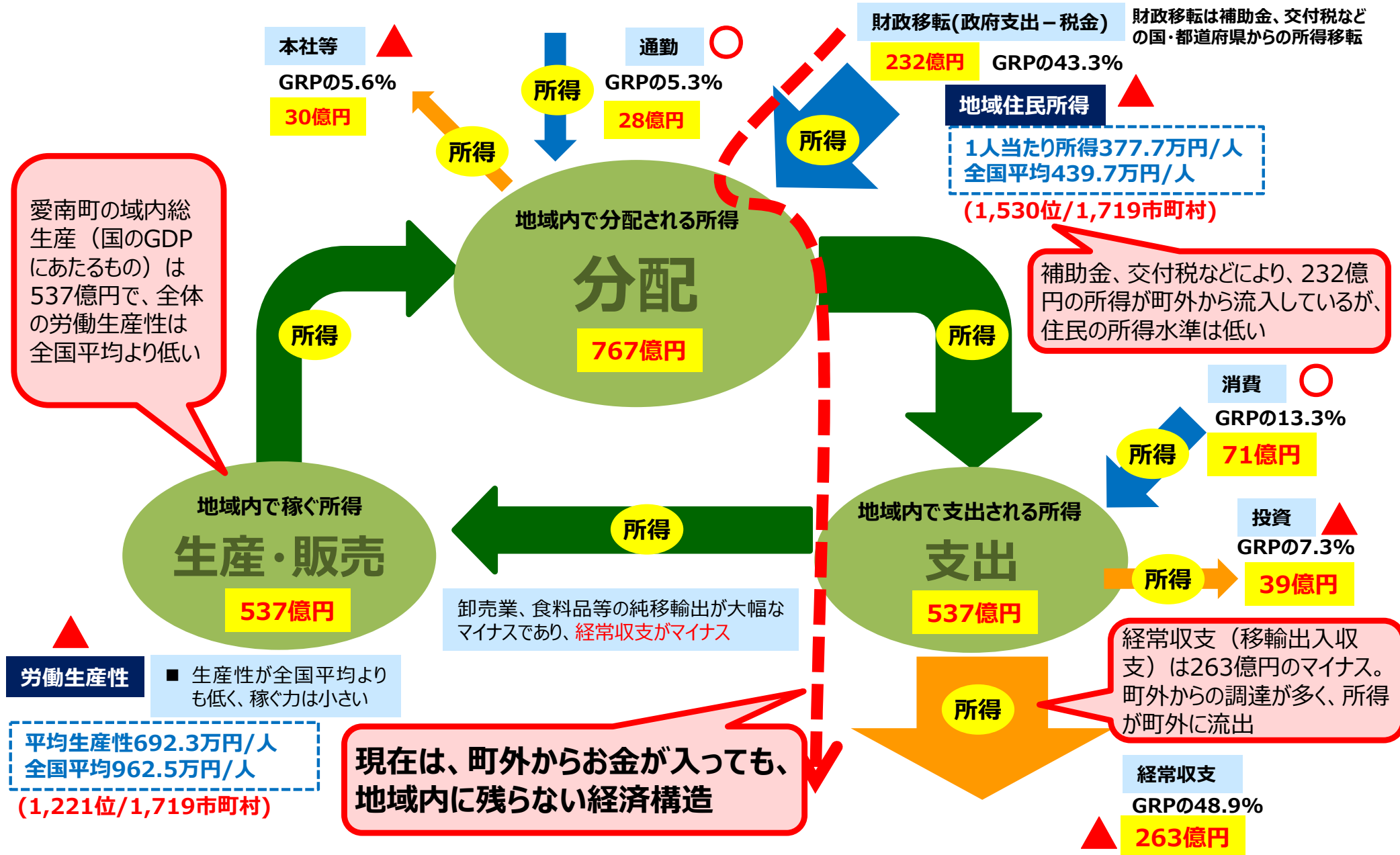
愛南町の人口の推移

愛南町の人口は2020年時点で19,601人、高齢化率は2020年時点で45.7%となっており、将来推計では2050年で人口は8,148人、高齢化率は64.4%となっている。



図表3 愛南町の将来推計人口と高齢化率
(出所：国勢調査（各年）、日本の地域別将来推計人口)

愛南町の地域経済循環構造



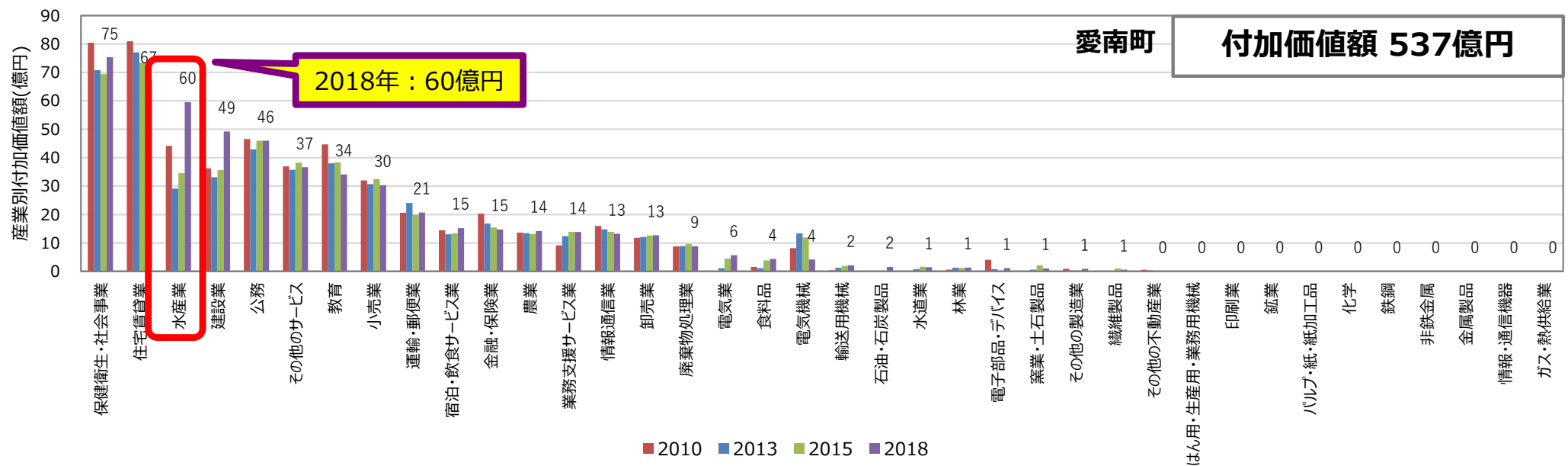
図表4 愛南町の所得循環構造

出所：「国民経済計算」、「県民経済計算」、「産業連関表」、「国勢調査」等より作成

愛南町の産業構造（産業別付加価値額）

愛南町の生産・販売にあたる537億円のうち、水産業の占める割合は60億円となっており、全体の約11.1%となっている。

産業別付加価値額 2010年～2018年

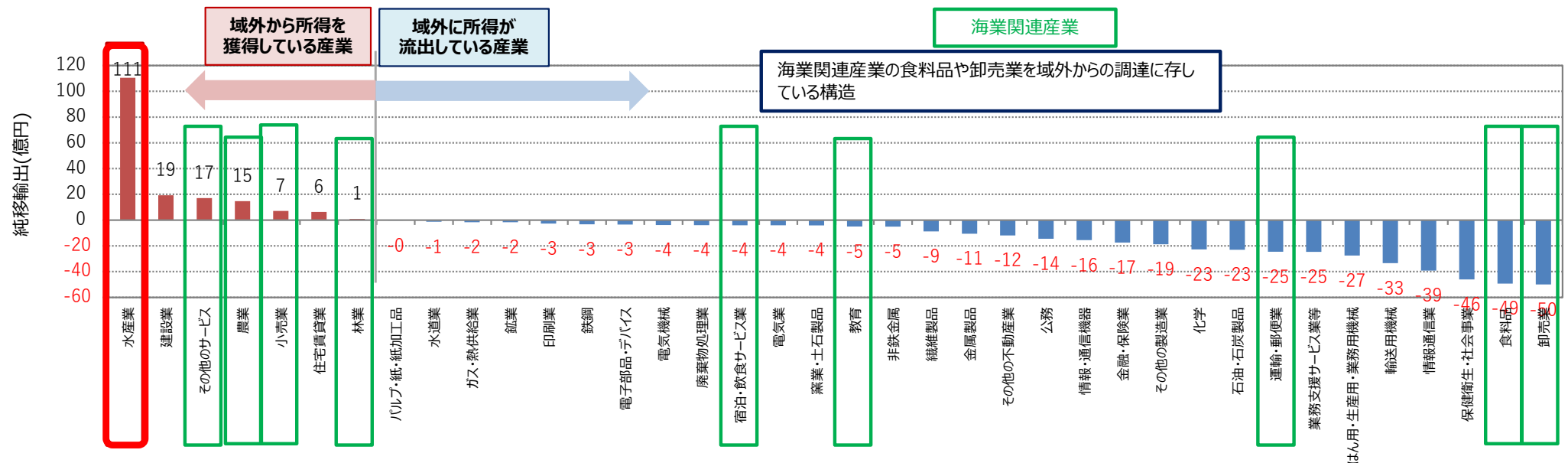


図表5 愛南町の産業別付加価値額

（出所：「国民経済計算」、「県民経済計算」、「経済センサス」、「工業統計」等より作成）

愛南町の産業構造（経常収支の内訳）

経常収支の内訳（産業別純移輸出額）



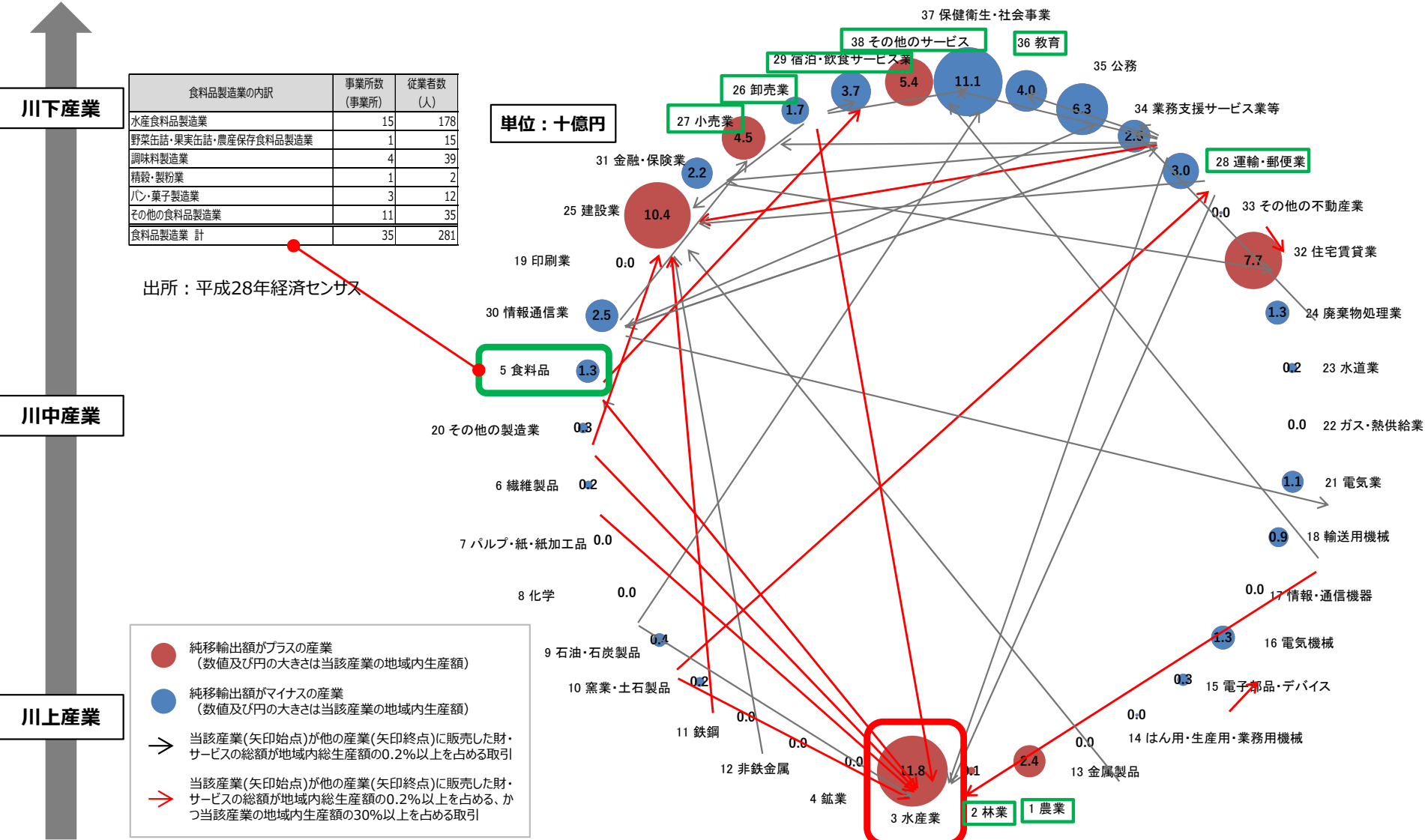
図表6 愛南町の産業別純移輸出額

（出所：「国民経済計算」、「県民経済計算」、「経済センサス」、「産業連関表」より作成）

- ・ 経常収支の内訳に当たる産業別純移輸出額を見ると、海業及び海業関連産業の中では水産業、その他サービス業、農業、小売業、林業が地域外から所得を稼いでいる産業となっている。
- ・ 一方で、多くの産業で、町外に所得が流出している（町外から多くを調達している）状況であり、特に、食料品製造加工、卸売は、域外への所得の流出が大きい（両産業で100億円程度→愛南町の経済規模の2割近くに相当する額が町外へ流出）産業となっている。

愛南町の産業構造（産業間取引構造）

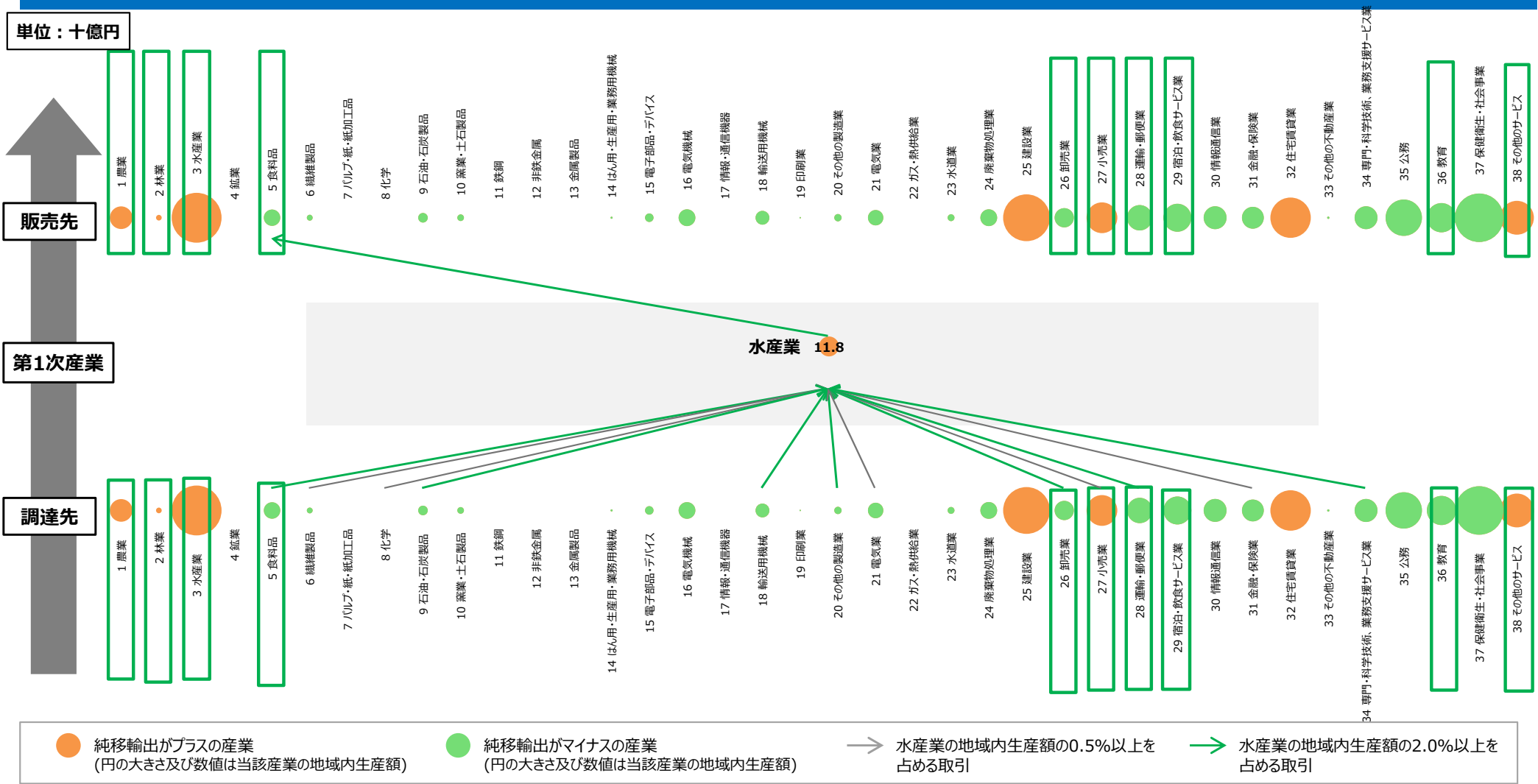
- 水産業は、町内の多くの産業から調達しているが、水産業から町内他産業への取引は多くない



図表7 愛南町の産業間取引構造
(出所：「国民経済計算」、「県民経済計算」、「経済センサス」、「産業連関表」より作成)

愛南町の産業構造（水産業に着目した産業間取引構造）

「水産業」に着目した主要な取引構造



図表8 水産業に注目した愛南町の産業間取引構造

出所：「国民経済計算」、「県民経済計算」、「経済センサス」、「産業連関表」等より作成

- 町内において、水産業を起点とした域内取引構造は十分に構築されているとはいえない。

愛南町の漁業の概況（漁港、漁獲量）

愛南町には19の漁港があるが、海業振興の中心として検討されているのは町の入口であり、高規格幹線道路の延伸も決まっている内海地区の柏崎漁港など、複数の拠点が候補地である。柏崎漁港は愛南町の北西部に位置する第2種漁港で、港付近に公民館のDE・あ・い・21や、キャンプ場の須ノ川公園もあり、海業振興を行った場合に人流が見込める立地にある。

柏崎漁港のほか、西浦観光船が運行し、ダイビングスポットが近い西浦漁港や船越漁港（第2種漁港）、市場食堂を有する深浦漁港（第3種漁港）、御荘漁港（第1種漁港）等がある。



図表9 海業振興検討対象の主要5漁港

平成30年の時点で漁獲量は42,709tとなっている。さば類やいわし類、あじ類など、様々な魚介類が漁獲される。県内随一の生鮮カツオ水揚げ漁港であり、古くからカツオの水揚げが盛んに行われている。地元で獲れる鮮度の高いカツオを「愛南びやびやかつお」としてブランディングしている。

また、真鯛の養殖は全国で21%のシェアを占めているほか、真珠母貝などの養殖も盛んである。その他に湾内で飼育された肉厚のかきを「愛南かき」、色鮮やかなヒオウギ貝を「愛南ヒオウギ」として売り出している。

漁獲量	42,709t
漁獲高上位3位の魚種	さば類やいわし類、あじ類

図表10 愛南町の漁業の漁獲量等

（出所：平成30年海面漁業生産統計調査より作成）

愛南町の漁業の概況（漁獲、漁法）

販売金額 1 位の漁業種類別経営体数

	漁業経営 体数	くろまぐろ	かつお・ まぐろ類 （くろまぐ ろを除く）	さけ・ ます類	いわし類	あじ類	さば類	ぶり類	ひらめ・ かれい類	あなご類	たちうお	たい類	いさき	さわら類	いかなご	ふぐ類	その他の 魚類	いせえび	その他の えび類	その他の かに類	あわび類・ さざえ	その他の 貝類	いか類	たこ類	うに類	なまこ類	その他の 海藻類	その他
愛媛県	3,444	13	8	1	87	328	32	176	60	18	78	435	81	111	1	16	722	21	170	23	97	260	72	76	16	14	245	283
愛南町	339	7	7	-	9	22	4	16	-	-	-	37	40	-	-	-	20	-	-	-	-	134	13	1	-	-	1	28
内海	118	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	104	-	-	-	-	1	8
御荘	43	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	2	-	-	-	-	20	5	-	-	-	-	7
南内海	42	1	3	-	1	4	1	1	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	8	5	1	-	-	-	8
東海	8	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
深浦	18	1	1	-	3	4	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
久良	36	5	-	-	-	1	2	7	-	-	-	13	2	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西海	42	-	2	-	-	4	-	6	-	-	-	9	9	-	-	-	7	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	2
福浦	32	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	6	14	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3

図表11 愛南町の販売金額 1 位の漁業種類別経営体数（出所：漁業センサス（2018年））

販売金額 1 位の漁獲・収穫魚種別経営体数

	漁業経営 体数	底びき網	船びき網	まき網	刺網	小型定 置網	その他の 網	はえ縄	釣	潜水器 漁業	採貝・採 藻	その他の 漁業	海面養 殖（魚 類養 殖）	かき類養 殖	その他の 貝類養 殖	くろまえば 養殖	その他の 水産動 物類養 殖	わかめ類 養殖	のり類養 殖	その他の 海藻類 養殖	真珠養 殖	真珠母 貝 養殖
愛媛県	3,444	528	105	44	400	46	49	59	890	55	267	133	307	27	14	2	1	6	47	5	240	219
愛南町	339	18	1	12	2	7	0	1	91	5	1	16	35	21	4	-	-	-	-	-	19	106
内海	118	1	1	0	0	1	0	0	0	3	1	1	2	1	3	-	-	-	-	-	5	99
御荘	43	6	0	1	0	1	0	0	6	1	-	1	2	13	1	-	-	-	-	-	7	4
南内海	42	4	0	5	1	0	0	0	15	-	-	-	3	7	-	-	-	-	-	-	6	1
東海	8	1	0	1	0	2	0	0	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
深浦	18	2	0	3	1	0	0	1	6	-	-	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
久良	36	4	0	2	0	1	0	0	16	-	-	1	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西海	42	0	0	0	0	0	0	0	27	1	-	5	6	-	-	-	-	-	-	-	1	2
福浦	32	0	0	0	0	2	0	0	20	-	-	4	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-

図表12 愛南町の販売金額 1 位の漁獲・収穫魚種別経営体数（出所：漁業センサス（2018年））

愛南町の漁業の概況（経営体）

- ・漁業就業者数は2000年から2020年の間で54.7%減少している。
- ・年齢構成は65歳以上の割合は町全体で28.3%、このうち75歳以上の割合が7.3%であるが、県平均と比べると、65歳以上・75歳以上は低い割合となっている。

漁業就業者数の推移

出所：国勢調査（2020年）

漁業就業者数	2000年	2010年	2020年	2000→2020
愛南町	2,115	1,174	958	▲54.7%
（旧：内海村）	662	325	301	▲54.5%
（旧：御荘町）	636	344	259	▲59.3%
（旧：城辺町）	451	282	225	▲50.1%
（旧：一本松町）	36	36	34	▲5.6%
（旧：西海町）	330	187	139	▲57.9%

図表13 漁業従事者の推移

漁業就業者の年齢構成

出所：漁業センサス（2018年）

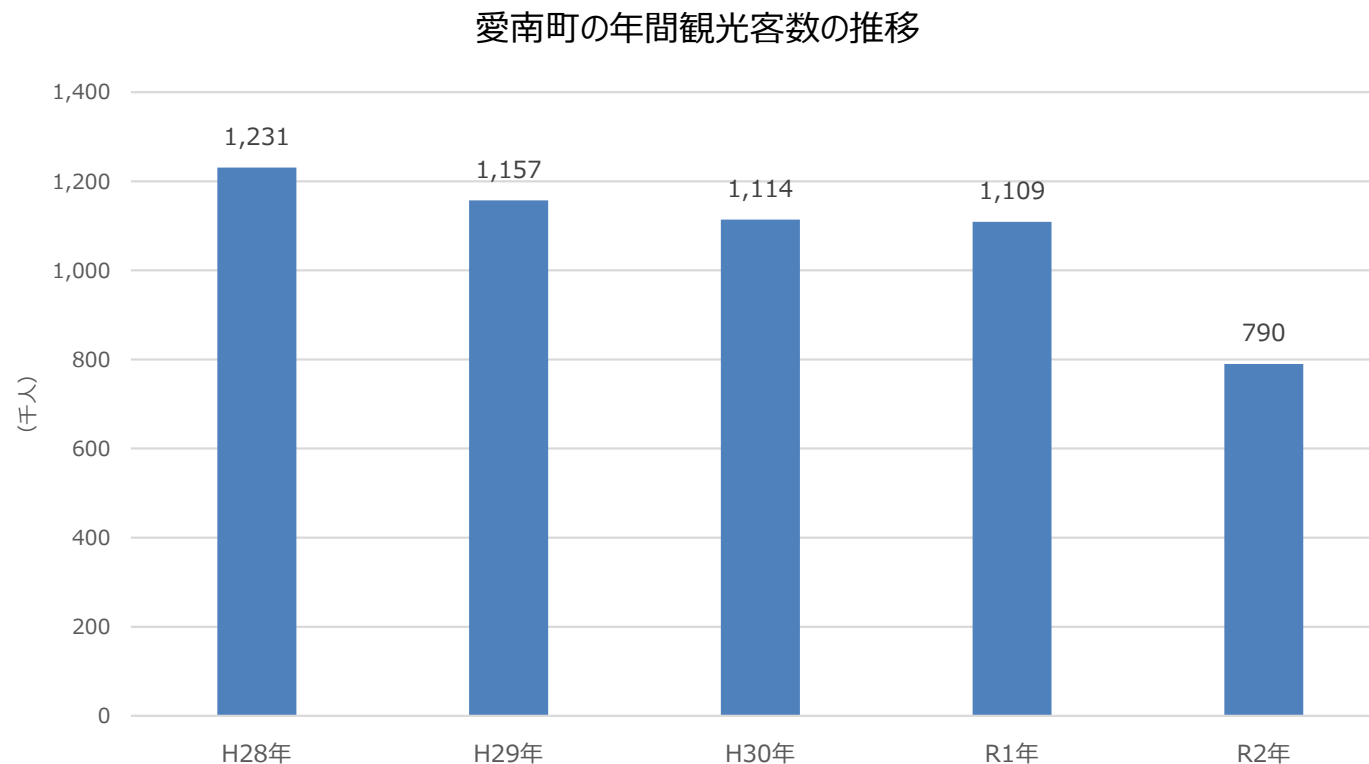
	就業者数	15～19歳	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75歳以上	65歳以上割合	75歳以上割合
愛媛県	6,186	27	110	175	272	311	432	469	577	634	738	930	705	806	39.5%	13.0%
愛南町	979	9	21	42	64	49	59	92	109	118	139	125	81	71	28.3%	7.3%
内海	187	-	3	3	7	11	7	16	17	37	31	28	15	12	29.4%	6.6%
御荘	112	-	2	1	7	3	7	10	13	8	21	17	11	12	35.7%	11.0%
南内海	250	3	5	11	15	11	18	20	36	34	36	27	21	13	24.4%	5.3%
東海	49	-	4	7	4	-	3	13	4	4	6	3	-	1	8.2%	2.2%
深浦	75	3	2	4	10	6	5	3	6	11	7	9	4	5	24.0%	7.0%
久良	109	-	1	2	7	5	9	13	18	9	13	9	16	7	29.4%	6.7%
西海	115	2	4	8	5	6	5	6	8	8	18	26	6	13	39.1%	11.6%
福浦	82	1	-	6	9	7	5	11	7	7	7	6	8	8	26.8%	10.1%

図表14 愛媛県及び愛南町の漁業従事者の年齢構成

※国勢調査と漁業センサスでは漁業従事者の定義が異なるため、数値は一致しない

愛南町の観光の概要

・愛南町の観光客入込数は新型コロナウイルス感染拡大前の令和元年度時点で年間1,109千人である。滞在型イベントや体験型観光が少なく、観光の受け皿となる宿泊施設が不足していることや、観光拠点となる産直施設が不足していることなどが課題となっている。



図表15 愛南町の年間観光客入込数の推移（出所：第3次愛南町総合計画）

2. 海業振興の方向性・将来像

愛南町の海業振興の目的・本計画の基本理念

【海業振興の目的】

- 愛南町の最大の強みである「海」「水産業」を活かして、町内の各産業と水産業との域内取引を活発化し、地域内での所得の好循環化をはかることで、地域の所得向上を目指す。
- 特に、食料品加工、卸売業は、漁業に近い産業であるものの、いずれも50億円近くが域外に流出しており、これを抑えることによる地域経済への効果は大きいものがある。

【本計画の基本理念】

- 大消費地から遠く離れた過疎地域であり、水産業などの一次産業が基幹産業である町として、超高齢化や人口減少という課題も視野に含めた総合的なまちづくり政策として進める。（すべてが海業につながる）

→町内産業の「総海業化」

- 持続的な取り組みを実現するため、町内のステークホルダーを主体とした議論や組織の立ち上げ、事業の実施を町役場がサポートする。

【漁港施設等活用推進計画の立案及び漁港水面施設運営権の設定等】

- 令和5年度に町内のステークホルダーの議論によって作成されるグランドデザインに基づく漁港施設等の利活用と、漁港水域占用の新規案件が見込まれることから、令和6年度中に漁港施設等活用推進計画の立案及び漁港水面施設運営権の設定等について検討する。

愛南町海業グランドデザイン

愛南町では、海業の一層の推進を目指すため、令和5年度に「海業グランドデザイン」を策定した。

海業の推進に当たっては、海業の様々な関係者の連携による取組や事業の創発と人材育成を目的として、多業種の関係者25名で組織する海業推進会議を令和5年7月に設置し、漁業・水産業に根差した町の未来像を議論してきました。

令和5年度の会議の成果として、「すべての世代の想いがつながり、共にワクワクする舞台」をスローガンとして、以下の5つのプロジェクトを示した愛南町海業グランドデザインを策定し、令和6年3月22日に次のとおり公表しました。

愛南町海業グランドデザインは、愛南町の海業の羅針盤となることを旨として、海業推進会議委員一同が、町民全員へのメッセージとして示した想いです。掲げたスローガンのもと、地域の宝である地域資源をつなぎ合わせて町を輝かせる物語（ストーリー）を各プロジェクトと位置付けて掲載しています。

(愛南町HPより抜粋)



図表16 愛南町海業グランドデザイン（抜粋）

3. 実施する海業の概要（海業計画）

	取り組み名
①	愛南海業コンシェルジュ Umidas
②	インバウンド！AINANツアー生成
③	愛南町盛旬満喫スタンプラリー
④	愛南町ブルーカーボン創出プロジェクト
⑤	愛南ぎょしょくツーリズムプロジェクト

海業の事業計画骨子【愛媛県愛南町】 ①



1. 現状と課題

【地域・水産業の現状と課題】

- 愛南町は愛媛県の最南端に位置し、平成16年10月に南宇和郡の旧5町村が合併して誕生。
- 町内19の漁港は、カツオの一本釣りや、マダイやブリの養殖、真珠母貝・真珠養殖など、多種多様な水産業が営まれている。

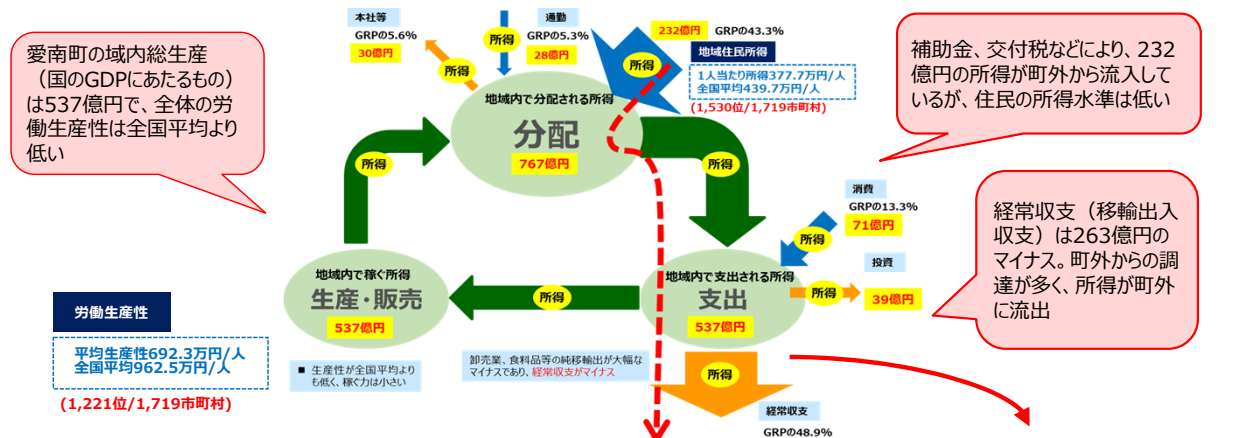
【海業に取り組むにあたっての背景】

- 松山市から150kmと遠い立地にあるが、町の入口部まで延伸される高規格幹線道路の開通後を見据え、町の地域資源である海を活用した活性化が急務である。
- 水産業は町全体の生産額の約3割を占め、町外から所得を獲得する、町の基幹産業となっている。一方、食料品製造加工、卸売、宿泊・飲食サービス等は町外に所得が流出しており、その結果、町の総生産の半分に該当する所得が町外に流出している。そのため一人当たりの地域住民所得も全国平均を下回っており、水産業を中心とした町内取引の活発化が必要である。
- 水産エコラベル認証を取得している持続可能な養殖業や、ブルーカーボンプロジェクト、漂着ごみ、へい死魚・加工残渣の回収・再資源化など、サステナブルな取組をさらに前進させる基盤の整備や着地型観光メニューの造成が求められている。
- 集客拠点同士の連携や担い手不足が課題であるため、各拠点を結ぶネットワークづくりにより、観光客と従業員双方の満足度を高める必要がある。
- 地場産品や地域の魅力について、効果的な情報発信を行うための手法・基盤づくりが望まれている。

■ 検討対象の主要5漁港



■ 愛南町の所得循環構造 ※所得を獲得しても、地域外に流出している経済構造



2. 検討体制

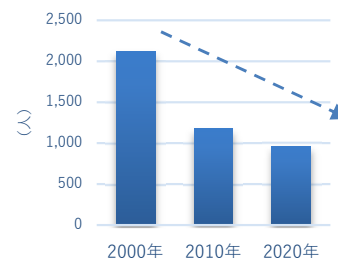
愛南町海業推進会議

- ・漁業・養殖業者
- ・漁協職員
- ・農林業者
- ・商工会職員
- ・飲食・サービス事業者
- ・宿泊・旅行事業者
- ・レジャー事業者
- ・廃棄物処理業者
- ・学校教育関係者
- ・大学・研究機関
- ・金融機関関係者
- ・メディア関係者
- ・行政職員

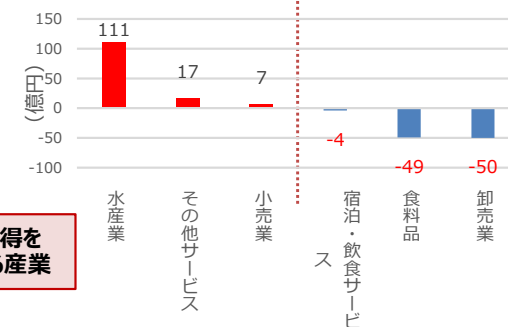
計25名

オール愛南町による検討推進

■ 愛南町の漁業者数の推移 ※20年間で54.7%減少



■ 愛南町の産業別純移輸出額（経常収支の内訳）



域外から所得を獲得している産業

域外に所得が流出している産業

※宿泊・飲食サービス、食料品、卸売業は域外からの調達が大きい

3. 海業の方針

【基本理念】

- 大消費地から遠く離れた過疎地域であり、水産業などの一次産業が基幹産業である町として、超高齢化や人口減少という課題も視野に含めた**総合的なまちづくり政策**として進める。（すべてが海業につながる）
- 持続的な取組を実現するため、**町内のステークホルダーを主体とした議論や組織の立ち上げ、事業の実施**を町役場がサポートする。

【海業振興による地域経済活性化の可能性】

- 愛南町の最大の強みである「海」「水産業」を活かして、町内の各産業と水産業との域内取引を活発化することで、**地域内での所得の好循環が起こり、地域の所得が向上する可能性** →**町内産業の「総海業化」**
- 特に、食料品加工、卸売業は、漁業に近い産業であるものの、いずれも50億円近くが域外に流出しており、これを抑えることによる地域経済への効果は大きい。

【漁港施設等活用推進計画の立案及び漁港水面施設運営権の設定等】

- 令和5年度に町内のステークホルダーの議論によって作成される**グランドデザインに基づく漁港施設等の利活用**と、**漁港水域占用の新規案件**が見込まれることから、令和6年度中に漁港施設等活用推進計画の立案及び漁港水面施設運営権の設定等について検討する。

4. 海業の具体的な取組・実施主体（案）・期待される効果

愛南町では、令和5年度に「海業グランドデザイン」を策定し、海業の振興の一層の推進を目指すこととしている。
グランドデザインの中に位置付けられた取組は以下のとおり。

① 愛南海業コンシェルジュ Umidas（海業推進会議委員を中心としたメンバーで構成される団体）

町の海業を推進するための中間支援組織（海業コンシェルジュ）を組織し、事業者同士のマッチングや事業のコンサルティング、新商品開発等のコーディネート活動をを行う。
また、愛南町の海業の周知活動を行い、理解者や協力者を増やし、より一層の海業の推進を目指す。

② インバウンド！AINANツアー生成（西海観光船、民間事業者、愛南町（商工観光課））

外国人観光客向けに海の体験・宿泊・食べ物・環境保全を掛け合わせた観光プログラムを、造成する。

③ 愛南町盛旬満喫スタンプラリー（愛南びやびや広め隊（町内飲食店5店舗等による団体））

愛南町内の海業関連施設（観光施設、産直市、観光地・景勝地、宿泊施設等）で商品やサービスを購入するとスタンプを獲得し、豪華賞品と交換できるスタンプラリーを実施。
地域の様々な業種との接点を生み出し、地域経済の活性化を目指す。

④ 愛南町ブルーカーボン創出プロジェクト（愛南漁業協同組合、愛媛大学、愛南の藻場を守る会、愛南町ほか）

真珠母貝養殖業者が行う筏の海藻除去活動がブルークレジット認証を受けたことや、藻場を食害するガンガゼウニを採捕し、町内の特産品であるブロックリーと、河内晩柑を餌として与えて、食味を改善し販売すること等の環境保全活動を拡大することにより、地域外の所得を獲得する。

⑤ 愛南ぎょしょくツーリズムプロジェクト（愛南町ぎょしょく普及推進協議会事務局（愛南町役場）、民間事業者）

現在実施している「ぎょしょく」教育プログラムを分析し、一般来訪者向けに体験プログラムとして提供する。海の恵みへの感謝と海洋環境保全に対する意識を惹起する体験の提供により、交流人口の増加と未来の海洋人材の育成を目指す。

愛南漁港 海業事業計画①

事業名		愛南海業コンシェルジュ Umidas
事業概要		町の海業を推進するための中間支援組織（海業コンシェルジュ）を組織し、事業者同士のマッチングや事業のコンサルティング、新商品開発等のコーディネート活動をを行う。また、愛南町の海業の周知活動を行い、理解者や協力者を増やし、より一層の海業の推進を目指す。
事業実施主体		海業推進会議委員を中心としたメンバーで構成される団体（任意団体を想定）
実施時期		R6～
ビジネスモデル	サービスの内容	海業推進会議委員を中心とした地域ビジネス共創チームを作り、町内で海業関連事業を行う事業者に対し、事業者同士のマッチングや経営コンサルティング、地場産品の新商品開発などの中間支援を行う。同時に町内に向けて海業に関する情報発信を行い、町の課題共有を行ったり、海業に関する協力者を増やしたりするなどして、町全体で海業への共創が生まれる仕組みを作る。
	取り組みのポイント	漁業関係者だけでなく、観光・飲食・小売行政、住民、自治会など様々な団体・活動を巻き込み共創関係を築き、「地域資源の価値」を最大化する地域ビジネスを展開することができる。
	ターゲット	愛南町住民、愛南町の取り組みに共感する人々

愛南漁港 海業事業計画②

事業名		インバウンド！AINANツアー生成
事業概要		外国人観光客向けに海の体験・宿泊・食べ物・環境保全を掛け合わせた観光プログラムを、造成する。
事業実施主体		西海観光船、民間事業者、愛南町（商工観光課）
実施時期		R6～
ビジネスモデル	サービスの内容	- 愛南町の魅力を活かした、外国人観光客向けの海の体験・宿泊・食べ物・環境保全を掛け合わせた体験ツアープログラムを造成する。スノーケル、ダイビングを主体に想定。 船、シーウォーカー等のアクティビティは、オプションで選べる形とする。専属ガイドをつけるなど、高品質で高単価のプログラムを想定
	取り組みのポイント	高品質な体験を提供することで、体験者自身に愛南町の良さを広めていただき、更に観光客が増加するという好循環を生み出すことができる。
	ターゲット・プラン	- ターゲット：外国人観光客（欧米系の個人客、ファミリー層を想定） - 見込客数：調整中（キャパシティの問題から、小人数の受入から始め、徐々に受入体制を整えていく） - 販売戦略：高品質な体験を提供することでの口コミ効果を狙う。愛南町が「穴場の場所」と思える、認知・環境づくりを目指す。

事業②「インバウンド！AINANツアー生成事業」の経済波及効果

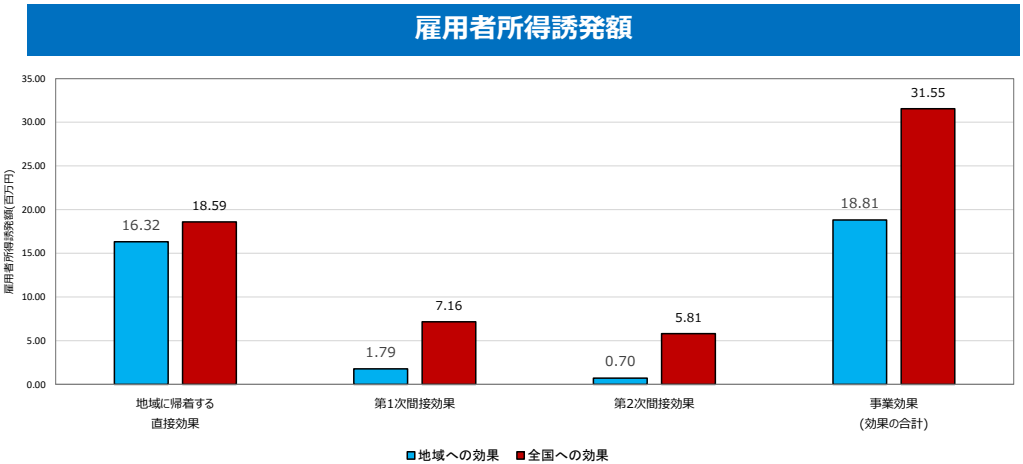
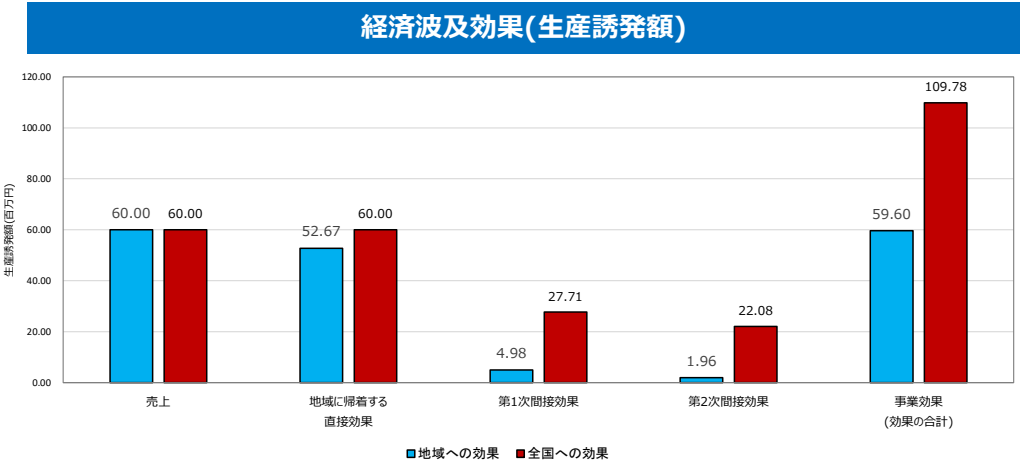
○算定条件（仮定値）

項目	設定値
延べ利用人数	600人／年
一人一回あたりの利用料	100,000円／人・回

費目	支出金額 (設定値)	域内調達割合 (設定値)
資材代	600万円／年	100%
人件費	2,400万円／年	—
電力費	36万円／年	9.9%
ガス・水道料	20万円／年	20.7%
燃料費	—	7.3%
保険料	—	55.3%
不動産賃貸料	—	18.6%
リース・レンタル料	1,000万円／年	44.9%
修繕費	1,000万円／年	86.6%
その他経費	—	62.8%
営業外費用	—	55.3%
法人税等	—	—
当期純利益	944万円／年	—

項目	割合（設定値）
資本金の地域内出資割合	100%
地域内雇用者割合	100%

○経済波及効果



※上記経済波及効果は、事業開始後に継続的に発生する事業効果（単年分）を示すものである。
※経済波及効果（生産誘発額）：事業実施によって増加した需要に対して、原材料の調達先の産業等を含めて新たに生まれる生産額のこと。
※雇用者所得誘発額：事業実施による生産増加に伴って増加する、地域内で働く従業員に対して地域内の企業が支払う賃金の金額のこと。
※地域に帰着する直接効果：事業による売上のうち、原材料等を域内で調達しているものに限って算出した、実質的な地域の売上のこと。
※第1次間接効果：事業実施により直接的な売上の発生に伴い、間接的に発生する原材料等の売上のこと。
※第2次間接効果：直接効果と第1次間接効果の売上が所得と消費に回ることによって発生する売上のこと。
※地域への効果：地域外への流出分を除いた、地域に帰着する効果。
※全国への効果：地域内・外の両方に帰着する効果の合計。仮にすべての原材料等が100%地域内で調達できる場合には、地域への効果と全国への効果が同じ金額となる。

愛南漁港 海業事業計画③

事業名		愛南町盛旬満喫スタンプラリー
事業概要		愛南町内の海業関連施設（観光施設、産直市、観光地・景勝地、宿泊施設等）で商品やサービスを購入するとスタンプを獲得し、豪華賞品と交換できるスタンプラリーを実施。地域の様々な業種との接点を生み出し、地域経済の活性化を目指す。
事業実施主体		愛南びやびや広め隊（町内飲食店 5 店舗等による団体）
実施時期		R6～※過去に2回実施した事業の拡大版
ビジネスモデル	サービスの内容	町内の観光施設、産直市、観光地・景勝地、宿泊施設などでスタンプを獲得し、景品と交換する。スタンプを貯めるほど高額景品（愛南町の特産品や施設利用券・お食事券）が当たる。景品は全て町内の企業、商店から仕入れ、地域経済の活性化を図る。
	取り組みのポイント	幅広い分野の愛南町の魅力を多くの方に知ってもらうことができる。また、スタンプラリー形式にすることで年間を通したりピーターを獲得する。
	ターゲット・プラン	- ターゲット：地域住民、観光客 - 見込客数：1万人（びやびやもん「盛旬満喫メニュー」の提供目標数） - 販売戦略：アナログ版・デジタル版両方のスタンプラリーを作成することで、幅広い年齢層への参加を促す。

愛南漁港 海業事業計画④

事業名		愛南町ブルーカーボン創出プロジェクト
事業概要		真珠母貝養殖業者が行う筏の海藻除去活動がJブルークレジット認証を受けたことや、藻場を食害するガンガゼウニを採捕し、町内の特産品であるブロッコリーと、河内晩柑を餌として与えて、食味を改善し販売すること等の環境保全活動を拡大することにより、地域外の所得を獲得する。
事業実施主体		愛南漁業協同組合、愛媛大学、愛南の藻場を守る会、愛南町ほか
実施時期		R6～
ビジネスモデル	サービスの内容	- Jブルークレジットの発行：愛南町の幹縄筏を用いた真珠母貝養殖を通して発行されるJブルークレジットを販売する。 - ウニッコリーの栽培：磯焼けの原因となっているウニ駆除による藻場再生に取り組みつつ、駆除したウニをウニッコリーとして畜養・販売する。
	取り組みのポイント	世界的にも環境保全の取り組みが注目される中、愛南町で日常的に実施しているサステナブルな活動を柱とすることで、サステナブルタウン・愛南として地域の知名度を向上・PRできる。
	ターゲット・プラン	- ターゲット： - Jブルークレジット…排出量の削減努力目標を達成したい企業、団体 - ウニッコリーの栽培…販売：観光客、学習旅行者、ふるさと納税者 - 見込客数： - Jブルークレジット…購入する企業数に応じた数（※認証量 5.9t-CO2） - ウニッコリー…試験段階のため、徐々に販売量を拡大 - 販売戦略： - 上記取り組みを一体化して発信し、独自の環境保全に取り組むまちとしてブランディングすることで、環境問題に関心の高い層に届ける。

愛南漁港 海業事業計画⑤

事業名		愛南ぎょしょくツーリズムプロジェクト
事業概要		現在実施している「ぎょしょく」教育プログラムを分析し、一般来訪者向けに体験プログラムとして提供する。海の恵みへの感謝と海洋環境保全に対する意識を惹起する体験の提供により、交流人口の増加と未来の海洋人材の育成を目指す。
事業実施主体		愛南町ぎょしょく普及推進協議会事務局（愛南町役場）、民間事業者
実施時期		R6～ 令和6年度以降は上記の取り組みについて、事業性の評価・分析を行うこととし、実行可能性の検討を行う。
ビジネスモデル	サービスの内容	- 現在実施している「ぎょしょく」教育プログラムを分析し、一般来訪者向けに体験プログラムとして提供するために必要な人員数や資金等の事業性を評価する。事業性評価については外部専門家に助言を依頼することを想定する。 - 全国有数の水産基地・愛南の「ここでしかできない体験」プログラムを構築・発信することで、サマースクールなどの教育旅行や社員研修の受入れも進め、宿泊施設や観光施設等との連携を図る。
	取り組みのポイント	町内で展開している7つのぎょしょく（魚職、魚触、魚色、魚殖、魚食、魚飾、魚植）を、通年で一般来訪者にも紹介し、体験してもらう。水産物は町内で仕入れ、イベントと恒常的な内容とを検討して提供する。
	ターゲット・プラン	- ターゲット：一般来訪者 - 取り組み事例：カツオの一本釣り疑似体験、本物の魚に触る体験、魚の写生体験、養殖場見学・餌やり体験、愛南の魚と環境を知る座学、海の産物を使用した工作体験（真珠やヒオウギ貝など）、調理実習 等

事業⑤ 「愛南ぎょしょくツーリズムプロジェクト」の経済波及効果

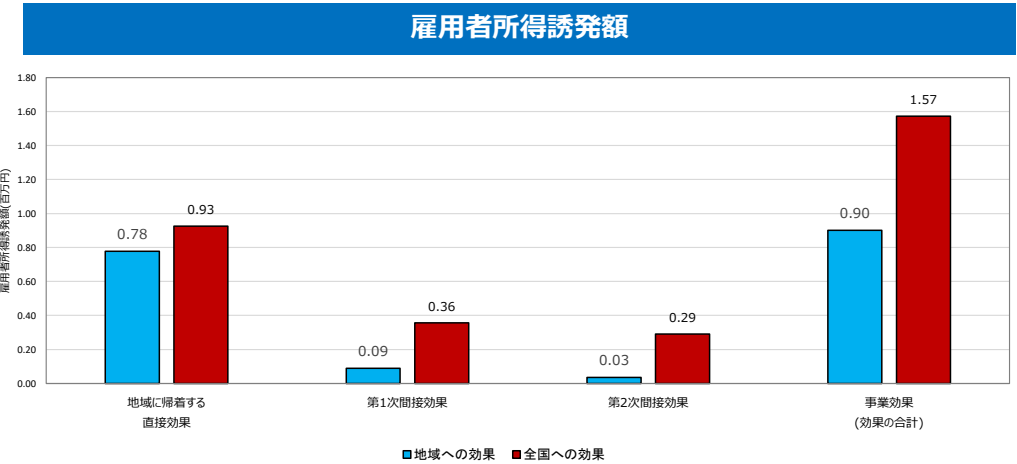
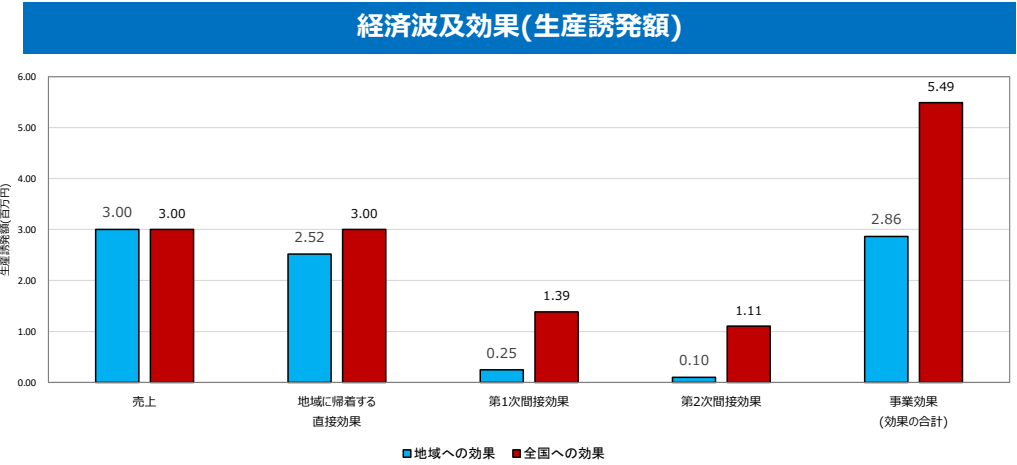
○算定条件（仮定値）

項目	設定値
延べ利用人数	1,000人／年
一人一回あたりの利用料	3,000円／人・回

費目	支出金額 (設定値)	域内調達割合 (設定値)
資材代	75万円／年	100%
人件費	100万円／年	—
電力費	—	9.9%
ガス・水道料	—	20.7%
燃料費	—	7.3%
保険料	—	55.3%
不動産賃貸料	50万円／年	18.6%
リース・レンタル料	—	44.9%
修繕費	—	86.6%
その他経費	20万円／年	62.8%
営業外費用	—	55.3%
法人税等	—	—
当期純利益	55万円／年	—

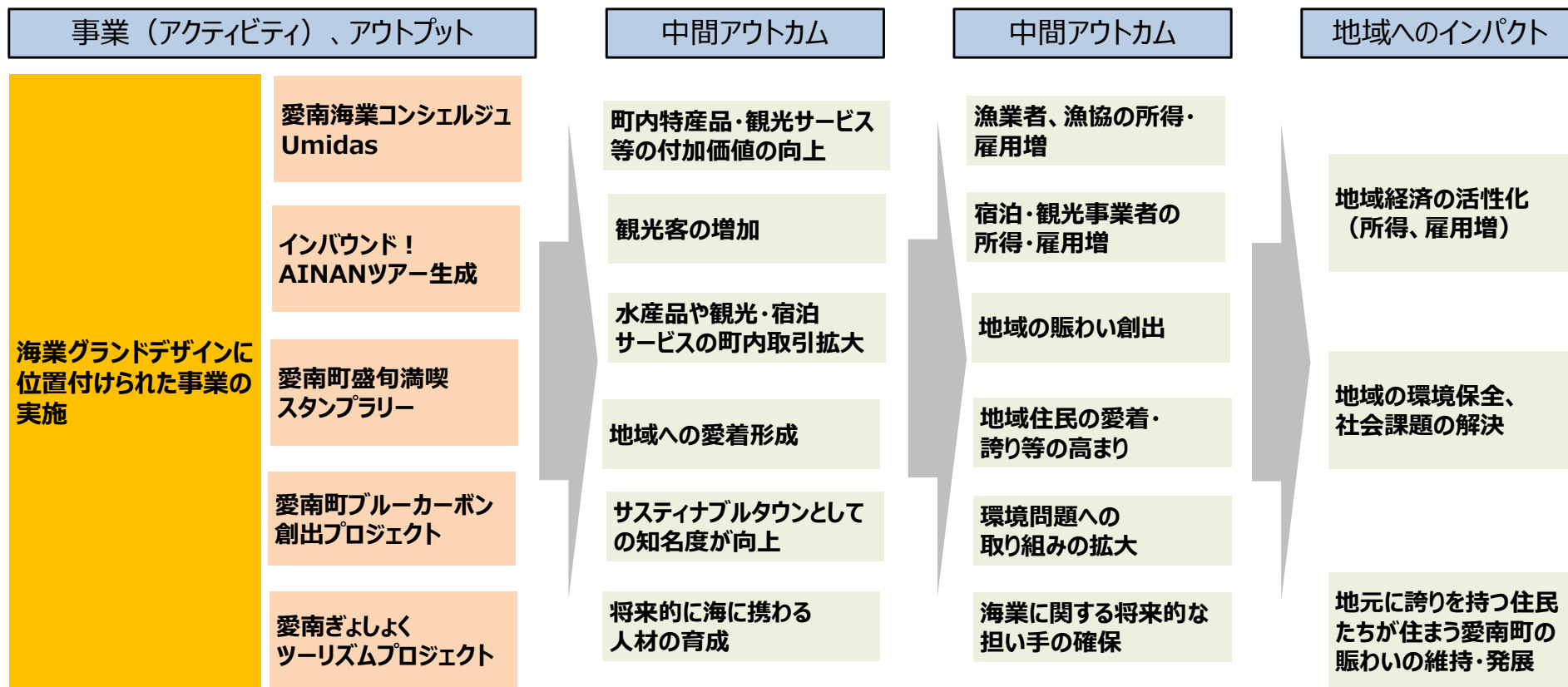
項目	割合（設定値）
資本金の域内出資割合	100%
域内雇用者割合	100%

○経済波及効果



※上記経済波及効果は、事業開始後に継続的に発生する事業効果（単年分）を示すものである。
※経済波及効果（生産誘発額）：事業実施によって増加した需要に対して、原材料の調達先の産業等を含めて新たに生まれる生産額のこと。
※雇用者所得誘発額：事業実施による生産増加に伴って増加する、地域内で働く従業員に対して地域内の企業が支払う賃金の金額のこと。
※地域に帰着する直接効果：事業による売上のうち、原材料等を域内で調達しているものに限って算出した、実質的な地域の売上のこと。
※第1次間接効果：事業実施により直接的な売上の発生に伴い、間接的に発生する原材料等の売上のこと。
※第2次間接効果：直接効果と第1次間接効果の売上が所得と消費に回ることによって発生する売上のこと。
※地域への効果：地域外への流出分を除いた、地域に帰着する効果。
※全国への効果：地域内・外の両方に帰着する効果の合計。仮にすべての原材料等が100%地域内で調達できる場合には、地域への効果と全国への効果が同じ金額となる。

海業振興によって期待される効果



図表17 海業による地域への効果

スケジュール

事業名	事業主体	実現までの実施事項					実施時期									
		実施項目	概要	実施主体	活用したい支援事業	想定概算費用	短期									
							R6				R7		R8		R9	
							4～6	7～9	10～12	1～3						
愛南海業コンシェルジュ Umidas	海業推進会議委員等	組織編制までの各種調整	組織体制などの決定	海業推進会議委員等	未定	未定				開業予定 ★						
インバウンド！AINANツアー生成	西海観光船、民間事業者、愛南町	ツアー造成	ツアープログラムの決定	愛南町（商工観光課）、西海観光船、町外事業者、民間事業者	未定	未定	■									
		ツアー実施	ツアーの実施		未定	未定		■	■							
		効果測定、内容改良	ツアーの実施結果の測定、測定を元にしたコンテンツの改良		未定	未定			■	■	■	■	開業予定 ★			
愛南町盛句満喫スタンプラリー	愛南びやびや広め隊	実施までの各種調整	スタンプ発行、広報など	愛南町、愛南びやびや広め隊	未定	300万円	■									
		スタンプラリー実施	イベントの実施				★	■	■							
愛南町ブルーカーボンプロジェクト	愛南漁協町、愛媛大学、愛南町	各種調整		愛南町、愛南町漁協	未定	未定	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	愛南の藻場を守る会、愛南町	ウニコリーの畜養の推進	食味改善・販売数増加のための取り組み	愛南町、愛南町漁協	未定	未定	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
愛南ぎょしょくツーリズムプロジェクト	愛南町ぎょしょく普及推進協議会事務局（愛南町）、民間事業者	事業の検討開始	実施事業の検討 プログラム試行、事業性の評価・分析 事業実施主体の担い手の研修 プログラム実施までの各種調整	愛南町、民間事業者（取り組みの実施）	未定	未定	■	■								
		試行と課題の抽出						■	■							
		事業主体の育成					■	■	■							
		プログラム確立・実装					■	■	■	■	■	■	開業予定 ★			